

## 令和5年度 三田市精神障害者支援センター相談事業報告書

## 1. 総括

きいてネットにおいて、とくに精神障害や発達障害についての専門的な知識や対応が求められる相談に応じるほか、他の相談支援事業所との連携や後方支援を意識して相談支援を行った。

- ① 新型コロナウイルス感染症が支援に及ぼす影響は在宅支援についてはほとんどない。しかし、コロナ禍で外部との接点が極端に減ったまま社会とのつながりが回復しない世帯も少なくなく、必要な医療にもつながらないケースもある。精神科病院では外出外泊体験宿泊の制限がある程度緩和され、退院支援が進めやすくなった。
- ② 新規相談に占める若年層（10代、20代）の割合は昨年の約24%から約12%に減った。母数が多くないため件数の解釈には慎重さが求められる。通信制の高校に在学しているが不登校、親が精神疾患であるといった深刻な背景の相談もある。居場所や自分らしい生き方の相談も多く、従来の障害福祉サービスではニーズを解決しづらいケースが大半である。
- ③ 件数は多くないが精神疾患のある親のケアを担うヤングケアラーが存在しており、子が医療保護入院の同意者の場合もある。多くは学生か働いている世代であり、平日日中がサービス提供時間であるきいてネットの相談が継続しづらい。
- ④ 家庭児童相談室や民生委員との連携機会が増えた。今後も継続して機会を増やしていきたい。件数ベースでの連携先の上位は、地域包括支援センター（約14%）、保健所（約13%）、精神科病院（約13%）、指定特定相談支援事業所（約8%）、権利擁護・成年後見支援センター（約6%）、訪問看護ステーション（約6%）、暮らし安心課（約4%）、家庭児童相談室（約4%）となっている。障害年金の支援では社会保険労務士と連携することが増えた。
- ⑤ 相談のきっかけとして、ひきこもりや精神科治療が必要と思われるが未治療や治療中断が一定の割合がある。地域包括支援センターや家庭児童相談室、保健所からの経路が多い。入院が想定されるケースは保健所と連携して支援することが大半である。高齢、児童との連携機会はあるため、今後は市の保健関係部署との連携を増やす必要がある。
- ⑥ 地域移行関係者連絡会の事務局を担当し、2か月に1回開催した。今年度は事例検討・発表を中心に身体障害、知的障害、精神障害の地域移行支援の知識と技術を広めるための場とした。精神保健福祉法改正を契機に精神科病院と相談支援事業所の連携を深めるワーキンググループを設けた。
- ⑦ 地域啓発ではワークショップ「対処の分かちあいの場」を9回実施した。
- ⑧ 居場所の活動（「ゆるり」、「はじまりの街」）を継続して行った。

## 2. 相談支援

### (1) 相談者数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規	1	6	6	6	7	4	6	5	8	-	-	-	49
実人数	36	39	42	41	48	29	38	36	35	-	-	-	140
障害者	36	39	41	40	47	28	38	36	35	-	-	-	131
障害児	0	0	1	1	1	1	0	0	0	-	-	-	2
身体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	1
重心	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
知的	4	7	7	6	4	1	6	3	3	-	-	-	11
精神	29	28	27	27	38	23	26	28	23	-	-	-	89
発達	2	1	5	6	2	3	2	0	3	-	-	-	13
高次脳	1	1	0	0	0	1	1	1	1	-	-	-	3
難病	0	0	0	0	0	0	1	0	1	-	-	-	2
その他	0	1	3	2	4	2	2	4	4	-	-	-	15
延べ件数	97	105	93	87	101	59	87	45	97	-	-	-	771

### (2) 相談形態

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
訪問	4	6	2	4	8	3	5	2	5	-	-	-	39
来所	14	9	10	16	12	9	16	9	11	-	-	-	106
同行	0	1	2	2	3	0	0	0	1	-	-	-	9
電話	27	36	36	32	21	11	33	14	28	-	-	-	238
メール	7	0	0	0	0	1	0	0	1	-	-	-	9
支援会議	1	2	1	0	0	0	1	0	0	-	-	-	5
関係機関	44	51	42	33	57	35	32	20	51	-	-	-	365
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
合計	97	105	93	87	101	59	87	45	97	-	-	-	771

### (3) 相談内容

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
福祉 S	49	50	54	40	41	35	38	14	43	-	-	-	364
障害理解	7	2	5	8	8	3	5	4	5	-	-	-	47
健康医療	39	39	39	34	54	26	35	27	40	-	-	-	333
不安解消	11	13	10	15	7	4	10	4	6	-	-	-	80
保育教育	9	0	0	1	3	1	0	0	0	-	-	-	14
家族関係	19	21	6	17	16	4	17	8	13	-	-	-	121
家計経済	7	6	7	9	9	3	8	7	16	-	-	-	72
生活技術	4	1	1	1	5	5	2	4	17	-	-	-	40
就労	8	12	16	12	6	7	17	3	17	-	-	-	98
社会参加	4	2	9	4	5	4	6	1	1	-	-	-	36
権利擁護	0	4	1	1	3	6	0	0	5	-	-	-	20
その他	0	1	1	1	3	0	2	0	0	-	-	-	8
合計	157	151	149	143	157	98	146	72	163	-	-	-	1236

### 3. 自立支援協議会

#### (1) 地域移行関係者連絡会

別紙「資料7」参照のこと。

### 4. 普及啓発活動

#### (1) 普及啓発

WRAP（元気回復行動プラン）を「いまいちの時、ピンチの時、いまの調子を保ちたいとき、みんなどうしているだろう？わかちあいの場」（対処のわかちあいの場）を実施した。精神的疾患とのつきあい方（サインや対処行動）についての相談が多いことから、アメリカの精神障害当事者が開発したWRAP（元気回復行動プラン）を参考にワークショップを行った。

以前より心理療法などの研修を専門家による講義で行ってきたが、講義だけでは参加者が実践に結びづらく、ワークショップ形式での企画とした。安心して話せるためにWRAPファシリテーターによる進行により、定員10名程度に絞った。初対面も多いにもかかわらず、自己開示も多くなされたので今後の可能性を感じた。

#### 【開催状況】

5/11(木) 13:30-16:00	12/20(水) 17:00-19:00
5/18(木) 17:00-19:00	2/14(水) 14:30-16:30
10/19(木) 14:30-16:30	2/29(木) 17:00-19:00
11/24(金) 17:00-19:00	3/28(木) 17:00-19:00
12/7(木) 14:30-16:30	

## (2) 居場所などの活動

### ① ゆるり

障害の有無に関係なく誰もが参加できる地域の居場所。平日夕方に2ヶ月毎に開催し、今年度で28回目を迎えた。特にコロナ禍で居場所を求めている人が多く、感染防止対策をしながら会話や交流を楽しんだ。食材の一部はパスカルさんだから提供していただいた。

- ・場所：総合福祉保健センター栄養指導室・センター周辺
  - ・担当：基幹相談支援センター、精神障害者支援センター、就労B型アイクロッソ
- ※ 内容は基幹相談支援センター報告書と同一

### ② はじまりの街

8050問題に象徴されるように中高年のひきこもりの課題を背景に、中高年でも話しやすいアニメやゲームを題材に居場所スペースを開催している。ウッドイ・カルチャー地区ふれあい活動推進協議会の協力を得て、地域住人の下村氏、三田市社会福祉協議会・ウッドイ・カルチャー地区地域福祉支援員、精神障害者支援センターの相談員が運営に協力。2ヶ月に1回程度、夕方に2時間程度の開催。アニメやゲームについての雑談が中心となっている。今年度は『はじまりの街』から自然発生的に参加者が博物館や外出に出かける企画があった。

昨年度から18歳未満の企画を親の会と協力して『はじまりの街 U-18』を実施している。

#### 『はじまりの街』開催日程

4/7(金)、6/2(金)、8/4(金)、10/6(金)、12/1(金)、2/2(金)

#### 『はじまりの街』(U-18)開催日程

5/14(土)、7/11(土)、9/9(土)、11/11(土)、1/13(土)、3/9(土)

## 5. 社会活動・研修活動（研修・講習会など）

(1) 相談支援の質の向上のため外部研修に参加。※三田市相談支援専門員研修を除く

- ・6/5 アソシア「相談の受け方、事例への関わり方」（伊丹市立障害者福祉センター）
- ・6/10 兵庫県相談支援ネットワーク総会 記念講演（西宮市勤労会館）
- ・6/27 兵庫県社会福祉士会マインドフルネス・フォローアップ研修（オンライン）
- ・9/10-11 全国地域で暮らそうネットワーク チイクラフォーラム（A P浜松町）
- ・10/7 「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」（神戸大学）
- ・1/18 兵庫県相談支援従事者研修・専門コース別（地域移行）（加古川市総合福祉会館）

### (2) 主な社会活動

- ・令和5年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業「地域の相談支援体制整備及び（自立支援）協議会の活性化に向けた都道府県による市町村支援の効果的な取組についての調査研究」検討委員
- ・令和5年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業「障害者ピアサポート研修事業における障害当事者の参画の実態把握及び方策についての調査研究」検討委員
- ・令和5年度厚生労働省障害者ピアサポート研修事業に係る指導者養成研修事業 検討委員会検討委員